

令和4年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.		2	4
事業名	地域コミュニティ応援事業費	会計	款	項	目
		一般	2	1	6
政策	3 みんなが活躍できる地域共生社会をつくるために	課名	政策課		
施策	3-1 主体的で特色のある地域づくりの推進	係名	地域コミュニティ応援プロジェクト		

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	自治会を中心とした地域	目的 (対象がどのような状態になっているか)	地域住民が誇りを持って自らの地域課題等に取り組み、持続的な地域づくりができています。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 自治会を中心とした地域自らが取り組む地域づくり（特に意識化）への支援。 自治会を中心とした地域と協働するための行政への意識化。 地域づくり交付金の交付及び相談支援。 上記にかかる研修プログラム、視察研修の実施。 			

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度(目標)
	1						
	2						
	3						
	4						
	5						
		令和3年度(決算)		令和4年度(決算)		令和5年度(予算)	
全体事業費(千円) A+B		15,840		26,288		28,033	
財源内訳	直接事業費 A	0		10,448		12,193	
	うち一般財源	0		10,448		12,193	
人件費(千円) B		15,840		15,840		15,840	
内訳	一般職員(人・千円)	2.4	15,840	2.4	15,840	2.4	15,840
	臨時職員(人・千円)	0	0	0	0	0	0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性は高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		町関与の必要性	B 町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	III 要改善 (少しでも事業内容に改善の余地があり取り組むべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	新たな交付金は3年毎に見直しを行い、地域コミュニティの醸成に取り組む。	③取組の課題	地域づくりの意味、住民の参加・協働にかかる意識化の働きかけをモデル地区の重点支援や研修等により行う必要がある。
②R4年度に実施した取り組み	地域づくり交付金を開始し、その交付要件である地域づくり計画等にかかる相談支援を行い、主に意識化を目的とした研修プログラムを住民、行政双方に実施した。	④今後の改善計画	引き続き、住民、行政双方へ意識化の働きかけを行いながら、令和7年度の交付金の見直しを検討する。